

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便利

お知らせ

＜クレンリネス事業部＞



「エッセンシャルワーカー」という言葉をご存知でしょうか。新型コロナウイルスが流行し始めた頃「私たちの日常生活における、必要不可欠な仕事（エッセンシャルサービス）を担う人」という意味で広まりました。小池東京都知事がエッセンシャルワーカーという言葉を用いて、大きく取り上げられたことがきっかけのようです。医療・福祉従事者、スーパーなど小売業の店員、郵便配達員やトラック運転手、バスや電車の運転士、保育士、介護福祉士、ごみ収集業務などがその代表的な職業です。私たちが今まで当たり前のように享受しているサービスは、それを担う方々がいてはじめて成り立つことが、コロナの流行によって再認識されるようになりました。清掃業務の従事者もエッセンシャルワーカーとして捉えられており、ビルや病院で清掃を担う私たちがいなければ、たちまち不衛生な環境になります。目立つ仕事ではありませんが、世の中になくてはならない仕事です。誇りを持って日々の仕事に取り組んでまいりましょう。

＜営業推進部＞

2016年に「障害者差別解消法」が施行されましたが完全な解消には至らず、巷では差別の事例が散見されます。しかし当社が運営する公共性の高い指定管理事業所においては、差別は絶対に発生させてはなりません。障害を持たれた方をサポートする場合、良かれと思って行ったことが、ご本人にとっては不要なサポートとして受けとられる場合があるとのことで、何を必要とされているかを確認することが大切です。各指定管理事業所における障害者対応の現状を把握し、過不足がないよう所轄の担当や関係機関で十分な協議・確認を行い、必要に応じ改善を図っていきます。

＜広島市留学生会館＞（国際交流・国際協力の拠点）

2022年度の留学生会館企画事業は、1月29日実施の生活支援セミナーとお別れ歓送会で終了しました。企画事業を通して、居住者間の交流や居住者と市民の皆さんとの交流を促進することが出来ましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いくつかの事業を中止せざるを得なかったことは非常に残念でした。2023年度はコロナ感染も収まり予定通り企画事業を実施でき、更に交際交流に貢献出来ることを期待しています。

＜広島市中小企業会館＞

今期も残り少なくなり、振り返ると休館こそありませんでしたがコロナ禍を要因とする展示会・イベントのキャンセルが数多く発生し、結果的に厳しい状況下での管理運営となりました。しかし今現在、4月以降は順調に催事予約が入ってきており、明るい兆しが見えています。引き続き気を緩めることなく、来期に繋げていくことを考え取り組んでまいります。

＜セキュリティ事業部＞

先日、鍵のギザギザ部分が摩耗していてドアの開閉がしづらくなっていると報告を受け、確認してみたところ鍵だけでなく鍵穴も摩耗しており、お客様に交換をお願いしました。摩耗、歪み、ひび割れなどがある鍵をそのまま使用すると、鍵や錠の破損に繋がりますので、それぞれの現場においても**普段の鍵の在庫確認の際、鍵の摩耗や歪み、ひび割れの有無など鍵のコンディションの確認も行うよう**にお願いします。



<東京支店>

東京支店の所在するフォンテビルの隣と後のビルが現在解体中です。ズドンズドンという爆弾のような音と衝撃が続いていましたが、概ね作業も終盤となってきました。昨年、フォンテはゴミ置き場の改修等でネズミを見ることは無くなりましたが、築地市場でもあったように、ビル解体に伴うネズミの大移動の懸念もあります。ネズミの生命力に学ぶ点もありますが、悪戦苦闘したかつての体験は御免こうむりたいのが本音です。



支店の周りも整備されてどう変わるのか楽しみです。マスクを外せる日も近い。気持ちを切り替え、清々しい春を迎えたいものです。

<FM事業部>

令和5年2月1日付で、FM事業部3課に参加として本吉敬二さんが入社されましたので、皆さんにご紹介いたします。本吉参与は、40年以上建設業に携わり、一級建築士としても多くの建築現場を管理してきた経験があります。この実績は、FM事業部が設備管理のみならず、建物点検や営繕工事において、顧客満足を追求するうえでの大きな戦力となることは間違いありません。皆さんの事業所に伺った際は、どうぞ宜しくお願いします。さて、令和4年度も残り一か月余り、各事業所においてはこの一年間に確認した改善点や懸案事項を次年度の業務計画に反映するよう整理し、日常業務の中での様々な気づきを「不具合報告書」等を活用し提案していくことに取り組んでいきましょう。

<安全衛生委員会>

ビルメンテナンス業において、転倒転落事故は発生頻度の高い事故となっています。主な事故としては「階段からの転落」「脚立からの転落」「段差でのつまずき」などが挙げられます。昨年（令和4年1月～12月）発生した労災事故10件のうち、6件が転倒転落事故でした。中でも昨年1月に発生した転倒事故は休業期間が307日間にも及ぶ重大事故となっています。このように転倒転落事故は骨折等で長期の休業となる可能性があります。事故予防のため「階段を下りる際、手すりを持つこと!!」「転倒しないための体作り」や「足元を注意し行動する」「ながら行動を行わない」などの対策で、転倒転落事故の撲滅に向け取り組んでいきましょう。ご安全に!!



<磨種（ときぐさ）>

立春を過ぎて、寒い雨の日を何度も迎えながらの出勤ご苦労様です。雨水も過ぎ、西高東低の気圧配置が三寒四温を繰り返します。

今の季節、早春賦を聞くたびに春を待ち焦がれる花鳥草木を思いますが、これも平和な日本だからこそです。天下を率いるに暴を以てして民を従わせようと思っても、其の好むところに反すれば民従わずという原理原則に従って貰いたいものです。

春は名だけの風の寒さや 谷の鶯 歌は思えど

時にあらずと声も立てず 時にあらずと声も立てず

※意訳（春とは名前だけで、まだ寒い風が吹いています。谷のウグイスも、歌おうと思うのですが、まだその時ではないと思い、声も立てません。）

この歌を聞くたびに森繁久彌さんの知床旅情を思い起こすのは、曲調が同じワルツだからでしょうか。皆さんがこの会報を手にする頃に啓蟄が訪れます。生きとし生ける命が地表にあらわれ春を迎えることになります。

しかし今なお世界の各地では戦争・自然災害が発生しており、犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈りします。偶さか生きている私達は『たとえ明日世界が滅亡しようとも、今日わたしはリンゴの木を植える。希望は強い勇気であり新たな意思である』というマルティン・ルターの大膽な行動をする貴さを強調する言葉を思いながら新年度へ向けて進みます。